

「自転車シミュレーター」を使用した小学生対象の交通安全教育について

神奈川県警察交通総務課(相模原市派遣) 竹内洋一
相模原市生活安全課 森 雅樹

相模原市の、平成 21 年中における人身交通事故発生件数は 3,914 件であり、うち「自転車
が関係する事故」が 1,318 件で全事故の 33.7%と県下平均より 9.7 ポイント高い実態にありま
す。また、子ども(中学生以下)が死傷した人数は 438 人で、そのうち 246 人(56.2%)が自転車
乗車中でありました。このような現状を踏まえ、相模原市においては小学校の夏休み期間
を利用して、児童を対象とした「自転車シミュレーターを使用した交通安全教室」を市立
児童交通公園において 16 日間にわたり実施し、基本的な交通ルール・マナーを習得させ交
通事故防止を図ることとしました。

受講後、受講者に対しアンケートを実施し集計しましたので、今後の交通安全教育の参
考にして下さい。

○実施方法

- ・走行画面をプロジェクターで投写し、他の受講者からも確認できるように設置しました。
- ・指導員(相模原市交通安全指導員)は、受講者に普段のままの運転をするよう説明した後、
画像内走行コースを運転させ、危険箇所等通過時に注意、助言を行い、また、走行終了
時に走行結果を確認し不備な点を説明しました。

○アンケート実施結果 アンケート回答者数 200 人(交通安全教室受講者数 237 人)

{男女別} 男子 138 人(69.0%) 女子 58 人(29.0%) 無回答 4 人(2.0%)

{学年別} 1 学年 41 人(20.5%)、2 学年 32 人(16.0%)、3 学年 21 人(10.5%)、4 学年
36 人(18.0%)、5 学年 40 人(20.0%)、6 学年 28 人(14.0%) 無回答 2 人(1.0%)

- ・自転車の運転は好きですか?
好き 145 人(72.5%) 少し好き 27 人(13.5%) 普通 26 人(13.0%)
少し嫌い 1 人(0.5%) 嫌い 1 人(0.5%) 無回答 0 人(0.0%)
- ・自転車シミュレーターを運転して楽しかったですか?
楽しい 162 人(81.0%) 少し楽しい 23 人(11.5%) ふつう 11 人(5.5%)
あまり楽しくない 1 人(0.5%) 楽しくない 2 人(1.0%) 無回答 1 人(0.5%)
(楽しい理由：本物の自転車を運転しているようだ 62 人、楽しく危険な運転・箇所を
理解できる 16 人、テレビゲームの感覚で運転できる 11 人など)
- ・走行中に危険行為等を行うと、画面上に出てくるキャラクターから注意や助言を受
けますが、注意や助言されたことを覚えていますか?
覚えている 156 人(78.0%) 覚えていない 44 人(22.0%) 無回答 0 人(0.0%)
(注意等の内容：発進時後方確認する 103 人、交差点等での左右確認 64 人など)
- ・今後「自転車シミュレーターを使用した交通安全教室」か「従来の学校等での交通
安全教室」のどちらを受けたいと思いましたか?(他の交通安全教室既受講者対象)
シミュレーター使用 125 人(83.3%) 従来の教室 24 人(16.0%) 無回答 1 人(0.7%)
- ・今後、自転車シミュレーターを使用して交通安全について勉強したいと思いますか?
はい 194 人(97.0%) いいえ 6 人(3.0%) 無回答 0 人(0.0%)

- ・ 自転車が信号を守らないことは、どう思いますか？(回答者が任意に5段階で評価)
 危険である 1 2 3 4 5 危険でない
 193人(96.5%) 4人(2.0%) 1人(0.5%) 0人(0.0%) 1人(0.5%) 無回答1人0.5%
- ・ 自転車が一時停止場所等を止まらず走行することはどう思いますか？
 危険である 1 2 3 4 5 危険でない
 167人(83.5%) 27人(13.5%) 3人(1.5%) 人(0.5%) 1人(0.5%) 無回答1人0.5%
- ・ 二人乗りをしている自転車をどう思いますか？
 危険である 1 2 3 4 5 危険でない
 157人(78.5%) 34人(17.0%) 7人(3.5%) 1人(0.5%) 0人(0.0%) 無回答1人0.5%
- ・ 自転車同士の並走をどう思いますか？
 危険である 1 2 3 4 5 危険でない
 137人(68.5%) 53人(26.5%) 4人(2.0%) 0人(0.0%) 2人(1.0%) 無回答4人2.0%
- ・ 傘をさしながら自転車を運転することをどう思いますか？
 危険である 1 2 3 4 5 危険でない
 147人(73.5%) 41人(20.5%) 7人(3.5%) 1人(0.5%) 1人(0.5%) 無回答3人1.5%
- ・ 携帯電話で通話をしながら自転車を運転することをどう思いますか？
 危険である 1 2 3 4 5 危険でない
 174人(87.0%) 22人(11.0%) 0人(0.0%) 0人(0.0%) 1人(0.5%) 無回答3人1.5%

おわりに

実際の自転車を使用した交通安全教室では、交通上の危険を安全に体験させることは非常に難しいものです。しかし、自転車シミュレーターは、自転車を運転する際に起こりうる危険を、誰にでも、何回でも安全に体験することが可能であり、複数回の危険を体験することにより危険予測、回避行動が期待でき、交通安全意識の向上を図ることができる機器であります。

今回のアンケート結果から、児童は自転車シミュレーターに強い興味を持ち、自転車シミュレーターの長所を活用することにより効果的な交通安全教育が出来ると考えています。

しかし、今回の交通安全教室では、交通事故防止に必要な「危険予測力の向上」という目的は、達成したとは言い難いと考えています。

その原因は、児童の自転車シミュレーターに抱く強いゲーム的感覚と教室の実施方法にあったと考えています。今回、児童には、普段のままの運転をしてもらい、指導員がその日常の運転について適宜必要な注意、助言を行うとの方法で実施しましたが、実際、児童らは運転を開始すると、テレビゲームと同様に上手く運転することや、上手く危険箇所を通過することを考え走行することが多く、日常の運転をすることによって発生すると想定していた、「危険予測を欠いたために発生する交通事故」や、「ルール・マナー違反が原因で発生する交通事故」などの発生は少なく、児童の日常の運転方法には、多くの危険が潜んでいるということを認識させ、自転車の運転には危険予測が必要と考えさせるには至りませんでした。

相模原市では、今後も「自転車シミュレーターを使用した交通安全教室」について検討・実施し、市民の交通ルール・マナーの向上を図り、交通事故の防止に努めていきたいと考えています。

最後になりましたが、教室の開催に際し多大な御配慮をいただきました財団法人神奈川県交通安全協会様、神奈川県警察本部交通部交通総務課様に謝意を申し上げます。